

シマシラキ

科名 トウダイクサ

学名 Excoecaria agallocha

別名 オキナワジンコウ



区分 木本類

分布 鹿児島(奄美大島)、沖縄、宮古島、八重山諸島、中国、台湾

葉の形 楕円形、卵状楕円形

葉の縁 全縁

葉の先 鈍形、鋭尖形

葉の種類 単葉

葉の付方 互生

葉の基部 円形

実の種類 蒴果

花・萼色 緑色や目立たない色

説明 海岸や汽水域に生育し、マングローブ林に準ずる種とされており、高さ10m以上に達する常緑の高木です。葉は互生で革質、ガジュマルの葉に似ていますが、葉柄が約2cmと長くなっています。葉をちぎると出てくる白い樹液は有毒です。花は穂状花序です。雌雄異株。